



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

〇すすんで学習する子（知） 〇思いやりのある子（徳） 〇たくましい子（体）

第41号 令和2年11月6日発行

授業研究～6年1組



11月4日に6年1組で算数科の授業研究を行いました。『順序よく整理して調べよう』の単元で、「落ちや重なりがないように、何通りの組み合わせがあるか調べる方法を考えましょう。」というめあてで学習しました。

まず、4人でリレーのチームを作る場合、どんな走る順序があるだろうかと問題を投げかけました。実際に陸上競技交歓会男子リレーメンバーがみんなの前に出て、幾通りかの並びを実演しました。すると、もっと簡単に確実に分かる方法が知りたいと考えました。数え忘れる「落ち」や複数回同じものを数えてしまう「重なり」を確認した後、自力で問題を解きました。その際、一人ひとりの名前ではなく「あいうえ」という簡略化した記号を使うことや図や表を使うことなども学びました。これは、算数科の学習で大切なことでもあります。熱心に問題を解き、真剣に友だちと考えを伝え合うことができました。それから、数人の子どもたちが全体に自分の考えを発表しました。友だちの発表を聞き、徐々に解き方が納得できていきました。最後に、自分の言葉でまとめを書き、考え方や解法等本時をふり振り返り、自己の学びを実感することができました。

友だちとの話し合いやノートのまとめ方、真剣に学習に取り組む態度など、6年生らしいレベルの高さを感じられ、とても感心しました。

授業研究～6年2組



11月5日に6年2組で算数科の授業研究を行いました。『順序よく整理して調べよう』の単元で、「組み合わせについて落ちや重なりがないように調べる方法を考えよう。」というめあてで学習しました。前日の6年1組は『順列』でしたが、今回6年2組は『組み合わせ』についてでした。「A B C Dの4チームでバスケットボールの試合をする時、どのチームも違ったチームと1回ずつ試合をする時どんな対戦があるだろうか。」という問題について考えました。前時の学び（順列）との違いを考えました。すると「並び方ではない」「A対BとB対Aは同じ」等いくつかの考えが出され、前時までの学びがしっかり身に付いていると感心しました。その後、表を使ったり1試合ずつ書き出したりと自力で解決に取り組みました。1つの方法で解き終わると、2つ目の方法でも解く姿に学習習慣が定着していると思いました。次に、全体で話し合いました。自分の考え方を友だちの反応を確かめながら上手に説明することができました。全員の説明後、「どの方法がよりよいだろうか」との問いに「表や多角形の辺や対角線で考える方法がよい」と考えることができました。最後に、学習のまとめを自分の言葉でまとめたり、練習問題を解いたりすることができました。

丁寧な説明の仕方や真剣に問題に取り組む態度がすばらしく、今後ますます能力向上が期待できるものとうれしく思いました。

体調管理

朝夕の冷え込みが厳しくなってきました。登校時の子どもたちの服装を見ると、しっかり衣服の調節がなされていると感じます。しかし、風邪をひきはじめている子も見られます。衣服の調節とともに「早寝・早起き・朝ご飯」等、規則正しい生活にも心がけさせることで、元気に学校生活を送らせたいと思います。

